

あっぷるかわら版

2月号



メンバーからの言の葉



あっぷるを利用している人(メンバー)からの言葉を添えます。()内はペンネームです

『そちらのあっぷる工房で働けませんか』と電話をかけたのは、10年程前だったと思います。

その時は、定員がいっぱいで受け入れ出来ない状態と返事があり、受給者証はお持ちですかと聞いて下さいました。私は、まだ受給者証は持っていないことを話し、それ以上のことも質問出来ず終えました。それから3年程月日経ち、私は籠屋町商店街にあった『あっぷる』へ一度ランチを食べに行きました。その時もそのまま何も聞かずじまいで帰ってきました。その後一般就労しましたが、どうしても生きづらく「自立したい」と焦る思いと家族や周りの方とのコミュニケーションが上手くいかないまま空回りしているようでした。このままではよくないと思い、意を決してA型作業所を見学に行きました。相談事業所の計画書が必要なことを初めて知り、そのA型事業所の方が相談員さんを紹介して下さいました。しかし私は、また行き詰まってしまいそこを利用することはありませんでした。ですがここで相談員さんと出会わせていただいたことが、私の大きなターニングポイントとなっていて今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

時は経ち、相談員さんにお客様と触れ合えることが出来る場所『あっぷる』に行きたいと打ち明けることが出来た時には、『あっぷる』は、籠屋町から南庄町へ移転していました。私は今『あっぷる』に通って3年目になります。『あっぷる』で出会ったスタッフ、メンバー、ご支援下さっている方々の温かい心で私の心は大きく大きく変化しました。それはまるで、ひだまりの中の心地よい温もりのような良い変化です。

私は、今まで生きてきた中の自分の常識が間違っていたことを『あっぷる』で知りました。私の中の思い込みや先走った考え方、こうあらねばならないというこだわりを自分だけでなく相手にも求めてしまい型にはめた考え方、見守る心の距離感などお弁当作りを通して教えて頂きました。弱い私の心の中をどんどん炙り出されるようでした。また、『あっぷる』のスタッフであり精神保健福祉士の山下さんとお世話になっている相談員さんのお力をお借りして、一つずつ私の生活について整理して頂き私はさらなる心の安定をいただくことが出来ました。それは素直に困っていることを話すことから始まりました。

私は今、人生の折り返し地点を過ぎて初めて私は私でいいんだと自分自身を受け入れられるようになりました。こんな気持ちになれて本当に嬉しいです。この気持ちは、雪が溶けて私の心という土壤に埋まった種に沁み込んだ水が届き芽を出しているようです。そして風に揺られながら笑顔という花が咲いているようです。笑顔の花は次の世代へと実を結べるような温かな花でありたいと希望を持っています。この思いを今まで関わって下さった方々、ずっと見守ってくれた家族に捧げます。本当に本当にありがとうございます。そしてこのかわら版が、かつての私のように思い悩んでいる方の参考になれば幸いです。(心のともしび M.T)

私は25歳から、あっぷるで働き初めて今年の6月で20年になります。はじめての頃は、水も運べられなかったし笑顔もなく、苦手でした。その当時のスタッフさんや、お客さんのおかげで、今の私です。今は、水も運べれるし、お客さんとも色々話もできるようになりました。まえにも書いていたと思いますが、今の自分が大好きです。

(お弁当販売担当 Y.K)

私は子供の頃、大人になったら仕事が出来ののかなと思っていました。知り合いの人があっぷるに行っているから、行ってみたらと行ってくれたのがきっかけであっぷるに行くようになりました。それからずっと今も毎日自分の仕事をして頑張っています。(お漬物担当 Y.B)



精神保健福祉士とは



精神保健福祉士とは、1997年に誕生した精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの国家資格です。21世紀はこころの時代と言われています。多様な価値観が錯綜する時代にあって、こころのあり様は私たちがもっとも関心を寄せる問題の一つとなっています。特に、わが国では、たまたまこころの病を負ったことで、さまざまな障害を抱えた人々(精神障害者)に対する社会復帰や社会参加支援の取り組みは、先進諸国の中で制度的に著しく立ち遅れた状況が長年続いていました。近年になり、関係法の改正などにより、ようやく精神障害者も私たちと同じ市民として地域社会で暮らすための基盤整備が図られることとなりました。

精神保健福祉士は、精神科ソーシャルワーカー(PSW:Psychiatric Social Worker)という名称で1950年代より精神科医療機関を中心に医療チームの一員として導入された歴史のある専門職です。社会福祉学を学問的基盤として、精神障害者の抱える生活問題や社会問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通して、その人らしいライフスタイルの獲得を目標としています。ですので呼び方は、ワーカーさんや頭文字をとってPさんと呼ばれることがあります。そして現在は国際基準に合わせて、メンタルヘルスソーシャルワーカー(MHSW:Mental Health Social Worker)と呼び方が変わりました。

さらに、高ストレス社会といわれる現代にあって、広く国民の精神保健保持に資するために、医療、保健、そして福祉にまたがる領域で活躍する精神保健福祉士の役割はますます重要になってきています。

活躍する場所として

- ・医療機関(主として精神科病院)
- ・あつぷるの様な障害福祉サービス事業所
- ・行政機関
- ・司法関連 : 社会復帰調整官等
- ・教育機関 : SSW(スクールソーシャルワーカー)等

気になる方はホームページをご覧ください。

厚生労働省
精神保健福祉士とは



日本精神保健
福祉士協会



徳島県精神保健
福祉士協会



みなと高等学園『みなとクリーン清掃活動』

小松島市にある、みなと高等学園の生徒、先生8名の方々が来所し、あつぷるのホール床、休憩室床、店全体の窓ガラス、空調など多くの場所の清掃に来ていただきました。生徒達は、あつぷるに来る前に何度かミーティングを重ね、机の配置や部屋の空間把握とイメージを入念にしてくださり、作業開始と同時に、声の掛け合い、そして清掃箇所の確認と、とにかく出際がよく、チームワークもばっちり、みるみる内に店内がピカピカになっていきました。3年生は今回が最後とのこと。最初に来てくださった時は、下級生だった3年生も最上級生として、後輩たちに指示をしている姿に成長に感動しました。心から感謝申し上げます。



5のつく日は 月に一度の55ランチ

街の中の喫茶店あつぷるでは、月に一度、5のつく日は、通常750円の日替わりランチが、550円とお得になります。今月は**2月15日(木)**を予定しています。無くなり次第終了となります。是非お越しください。

社会福祉法人ハートランド

街の中の喫茶店あつぷる・あつぷるスイーツ工房
営業日 水・木・金・土(休業日 月・火・日)

※ 祝日営業はお知らせします。

営業時間 11:00~15:00

ランチ 11:30~無くなり次第終了

Tel: 088-679-8225 予約可能

社会福祉法人ハートランド
ホームページQR

